

著作権に関する注意

本校の入試問題は著作権の対象となっており、著作権法で保護されています。
「私的使用のための複製」や「引用」など著作権法上認められた場合を除き、無断で複製・転用することはできません。

お断り

本校の入試問題中で引用した文章・文献等について、著作物保護の観点から一部掲載を控えた箇所があります。ご了承ください。

二〇一九（平成三十一）年度

東北学院中学校入学試験問題

〈前期2教科型〉

国

語

二〇一九（平成三十一）年一月七日（月）

九時～九時五〇分（五〇分間）

注意事項

- 一. 受験番号・氏名を解答用紙にはっきり記入してください。
- 二. 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 三. 解答用紙だけを提出してください。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

(服部圭郎『若者のためのまちづくり』より)

問一 本文中の **A** と **D** にふさわしい語を次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア たとえば イ つまり ウ しかし エ もちろん オ なぜなら

問二 — 部(1)「自分の居場所」とはどのようなものですか。本文の言葉を用いて三十字以内で答えなさい。なお、句読点や記号も一字とし、以下同じとします。

問三 — 部(2)「なぜ、このサード・プレイスが重要なのか」について、なぜサード・プレイスは都市において重要なのですか。本文の言葉を用いて二十字以内で答えなさい。

問四 — 部(3)「ミチ的な空間」に当てはまらないものを次の中からすべて選び、記号で答えなさい。

ア 家や学校

イ 公園にあるバスケットボール・コート

ウ インターネットのチャットサイト

エ 道路や広場

オ 郵便局やよろづ屋、カフェ

問五 次の図は本文中の地図1〜4です。この中から **地図1**、**地図4** に当てはまるものをそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

著作物保護のため掲載を控えます

ア

イ

ウ

エ

問六 — 部(4) 「まちを探検する」といいます」について、筆者がこのようにすすめるのはなぜですか。三十字以内で説明
しなさい。

二

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

(藤岡陽子『手のひらの音符』より)

問一 〰〰部A「しゃくり上げ始めた」、B「そっぽを向いて」の意味としてふさわしいものをそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

A「しゃくり上げ始めた」

- ア 声や息を吸い上げるように泣き始めた
イ こわくなってふるえ始めた
ウ 声を出さずに泣き始めた
エ 怒りで顔が赤くなり始めた
オ 涙が次から次に流れ始めた

B「そっぽを向いて」

- ア 見下して
イ 無視して
ウ 視線をそらせて
エ あおぎ見て
オ 白い目で見て

問二 —部(1)「はしゃいだように正浩は悠人と手を繋いで、コートの中をいったりきたり、走り回る」について、なぜ正浩はこのようにふるまったのですか。その説明としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア せっかく塾から早く帰れたので、年下の弟たちと思い切り遊びたいから。
イ 練習がうまくいかない悠人がしょげているので、元気づけようと思ったから。
ウ 信也が不機嫌そうな様子なので、楽しい気分にならせてやろうと思ったから。
エ 塾で忙しくて弟たちと遊べないので、この機会につぐないをしたいから。
オ 悠人や信也と一緒に遊ぶことで、弟たちの成長を確認したいと思ったから。

問三 — 部(2) 「正浩の隣で、笑いながらお茶を飲んでいた悠人の顔が硬直し、怯えたように曇っていく」について、この時の悠人の気持ちを四十字以内で説明しなさい。

問四 — 部(3) 「信也は正浩の話を黙って聞いている」について、この時の信也の気持ちの説明としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 自分の理想の練習方法を正浩に否定されて、なんとか正浩を説得しようとする気持ち。

イ 水樹の前で正浩が悠人を上達させたため、自分の立場がなくなりくやしがる気持ち。

ウ 悠人の上達ぶりにおどろいて、自分よりも指導のうまい正浩をねたましく気持ち。

エ 正浩の言う悠人の変化はわかるものの、まだ素直に受け入れることができない気持ち。

オ 正浩の話に納得し、今まで自分がとってきた練習方法の間違いを反省する気持ち。

問五 — 部(4) 「正浩といるとなんだか学校の先生と一緒にいるような錯覚に陥る」について、この描写から正浩がどのような人物であると読み取れるか、答えなさい。

問六 — 部(5) 「悠人が甘えるように正浩の方をまっすぐ見上げた」について、この時の悠人の気持ちの説明としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 自分が上達したことを実感し、正浩にもっとほめてほしいと思う気持ち。

イ 自分が上達した姿を水樹の前で見せることができ満足している気持ち。

ウ これまでボールから逃げてばかりいた自分をふりかえって恥ずかしく思う気持ち。

エ 逃げる闘い方はやはりかっこ悪いので、別の闘い方を教えてほしいと願う気持ち。

オ 自分の闘い方にまだ自信が持てず、本当にそれでいいのか確認したい気持ち。

問七 — 部(6) 「正浩が力を込めたぶんだけ、悠人の目に力が漲っていく」について、正浩との練習を通して悠人はどのように変わったことが読み取れますか。二十五字以上、三十五字以内で答えなさい。

次の――線部①～⑤のカタカナを漢字に直し、⑥～⑩の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- | | | | |
|---|-------------|---|---------------|
| ① | ウチユウステーシヨ | ⑥ | チーム一丸 |
| ② | 人工エイセイの打ち上げ | ⑦ | 身を粉にして働く |
| ③ | 急速な技術カクシン | ⑧ | 八百屋でリングを買求める |
| ④ | 成功をオサめる | ⑨ | 問屋から小売店に商品を卸す |
| ⑤ | 全力をアげる | ⑩ | 不易流行 |

